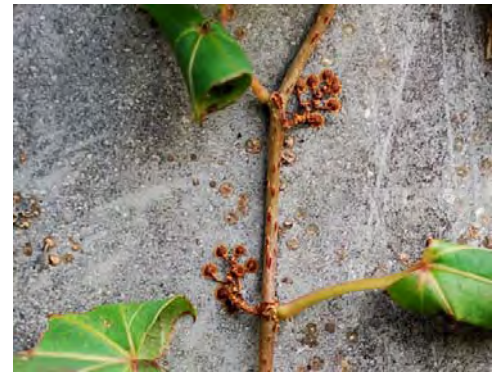


梅雨の晴れ間は湿度が高く、重たい暑さですね。私たちには厳しい暑さですが、植物の生長にとってはこの上なく好条件です。中でもこの時期、上へ上へと伸びる植物にのっかって、ちゃっかり高い所へ葉っぱを出すのが、つる植物です。今回は、そんなつる植物のいろいろな形を観察しましょう。

## ◆カエルの手を出す植物？

つる植物というと、小学校でも育てるアサガオが頭に浮かぶのではないのでしょうか。アサガオは支柱などに茎がぐるぐると巻き付きませんが、巻き付かずのまま伸びていく植物もあります。たとえば、ツタです。ツタの茎には、カエルの手の指を思わせるような吸盤がついていて、これで木の幹などにはりついて伸びていきます。



ツタ

## ◆巻きひげで伸びる植物

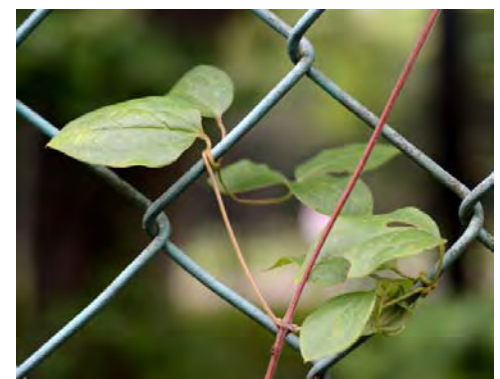
ヤブガラシやノブドウは、葉っぱが変化した「ひげ」がほかの植物に巻きついて伸びていきます。ヘチマやエンドウマメなども同じように、葉っぱの一部が変化した「ひげ」で巻き付きます。



ヤブガラシ

## ◆葉っぱの一部が巻き付く植物

園芸植物のクレマチスや、同じなかまのセンニンソウ、コボタンヅルは、葉っぱと茎をつなぐ「葉柄」がぐにゃりと曲がって、他の植物に巻き付きます。けっこうしっかりと巻き付くので、一度巻き付いたら、葉っぱが落ちるまで離れることはありません。また、アカネは上から見ると十字型に葉が伸びます。さらに茎や葉柄には細かいトゲが生えていて、ほかのものに引っかかるようにして伸びていきます。同じような伸び方をする植物に、ツルグミなどがあります。山の斜面などに生えるジャケツイバラは、かぎ爪のような強力なトゲでよじ登るように伸びていきます。



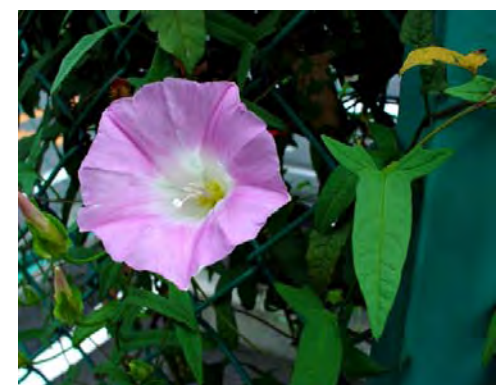
クレマチス

## ◆アサガオは右巻き？左巻き？

さて、代表的なつる植物であるアサガオが、そろそろ咲き始めます。アサガオは茎が巻き付いて伸びますが、巻く方向は決まっています。茎が伸びる方向に向かって、左か右か、どちらに巻くのでしょうか。アサガオを探して、どちら向きか確かめてみましょう。

ちなみに、アサガオにはいろいろな種類がありますが、どれも同じ方向に巻きますし、近い仲間のヒルガオも同じ巻き方をします。

茎で巻き付くつる植物には、クズやヤマノイモ、ヘクソカズラなど、身近にたくさんあります。それぞれどちらに巻くか、観察してみてください。



コヒルガオ

次回のお知らせ

ミニ観察会：7月23日（土）11時から  
今回と同じ内容で実施する予定です。